

## 重要なお知らせ

常用漢字表改定に伴う  
日本漢字能力検定の対応について

# 平成24年度(2012年度)から 日本漢字能力検定の 審査基準を改定します。

平成23年(2011年)8月発表

※平成24年1月 一部修正

「Q&A」 Q.3(対象漢字数と字種について)

Q.16(問題集について) の内容を変更しました。

本冊子は、平成23年(2011年)8月時点の情報を掲載しています。  
最新情報は、漢検ホームページにてご確認ください。

平成23年度(2011年度)第2回、第3回検定は、  
現行の審査基準に基づいて行います。ご注意ください。



財団法人 日本漢字能力検定協会

財団法人日本漢字能力検定協会は、平成24年度(2012年度)第1回から日本漢字能力検定の審査基準を改定します。※具体的な開始時期については、本冊子6ページのQ2をご覧ください。

## ■審査基準とは

日本漢字能力検定における審査基準とは、各級の検定で受検者の漢字能力を審査するための基準となるものです。各級の検定で対象となる漢字の範囲やそれらの漢字に関して適用される領域・内容を示しています。

## ■変更の背景

平成22年(2010年)11月30日付けで新しい常用漢字表が告示されたことに伴い、日本漢字能力検定の審査基準を見直し、平成24年度から新しい審査基準で検定を行うこととしました。

## ■級のレベルについて

日本漢字能力検定は、社会生活や学校教育で必要とされる漢字能力の習得の度合いを測定する検定です。漢字の読み書きのみならず、漢字に関する総合的な能力を問う出題内容となっています。

そのため、新しい審査基準においても、各級のレベル(例:3級＝中学卒業程度)や合格基準は変わりません。

## ■審査基準の新旧対照表

### <1級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 常用漢字を含めて、約6000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使えるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 故事・諺</p> <p><b>【内容】</b> ア. 常用漢字の音・訓を含めて、約6000字の漢字を読み、その大体が書ける。 ・熟字訓、当て字、対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解すること ・典拠のある四字熟語を理解すること ・国字を書くこと(泳える、巻る など) ・地名・国名等の漢字表記(当て字の一種)を読むこと ・常用漢字体と旧字体との関連を知ること イ. 故事成語・諺を正しく理解する。</p>	<p><b>【程度】</b> 常用漢字を含めて、約6000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 常用漢字の音・訓を含めて、約6000字の漢字の読み書きに慣れ、文章の中で適切に使える。 ・熟字訓、当て字を理解していること ・対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解していること ・国字を理解していること(泳える、巻る など) ・地名・国名などの漢字表記(当て字の一種)を知っていること ・複数の漢字表記について理解していること (鹽一塩、颱風一台風 など) 《四字熟語・故事・諺》 典拠のある四字熟語、故事成語・諺を正しく理解している。 《古典的文章》 古典的文章の中での漢字・漢語を理解している。</p>

※約6000字の漢字は、JIS第一・JIS第二水準を目安とする。

※約6000字の漢字は、JIS第一・第二水準を目安とする。

### <準1級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 常用漢字を中心とし、約3000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使えるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 故事・諺</p> <p><b>【内容】</b> ア. 常用漢字の音・訓を含めて、約3000字の漢字を読み、その大体が書ける。 ・熟字訓、当て字、対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解すること ・典拠のある四字熟語を理解すること ・国字を読むこと(峠、凧、畠 など) ・表外漢字を常用漢字に書き換えること イ. 故事成語・諺を正しく理解する。</p>	<p><b>【程度】</b> 常用漢字を含めて、約3000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 常用漢字の音・訓を含めて、約3000字の漢字の読み書きに慣れ、文章の中で適切に使える。 ・熟字訓、当て字を理解していること ・対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解していること ・国字を理解していること(峠、凧、畠 など) ・複数の漢字表記について理解していること (國一国、交叉一交差 など) 《四字熟語・故事・諺》 典拠のある四字熟語、故事成語・諺を正しく理解している。 《古典的文章》 古典的文章の中での漢字・漢語を理解している。</p>

※約3000字の漢字は、JIS第一水準を目安とする。

※約3000字の漢字は、JIS第一水準を目安とする。

## <2級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 小学校・中学校・高等学校で学習する常用漢字を理解し、文章の中で適切に使えるようにする。人名用漢字も読めるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 部首</p> <p><b>【内容】</b> ア. すべての常用漢字の読み書きに慣れる。特に高等学校で学習する音・訓を身につけ文章の中で適切に使える。 ・熟字訓、当て字を理解すること (海女／あま、玄人／くろうと、祝詞／のりと、寄席／よせ など) ・対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解すること ・典拠のある四字熟語を理解すること (鶏口牛後、呉越同舟 など) イ. 部首の理解を深め、漢字の構成と意味を把握する。</p>	<p><b>【程度】</b> すべての常用漢字(※)を理解し、文章の中で適切に使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 すべての常用漢字の読み書きに習熟し、文章の中で適切に使える。 ・音読みと訓読みとを正しく理解していること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること ・熟語の構成を正しく理解していること ・熟字訓、当て字を理解していること(海女／あま、玄人／くろうと など) ・対義語、類義語、同音・同訓異字などを正しく理解していること 《四字熟語》 典拠のある四字熟語を理解している(鶏口牛後、呉越同舟 など)。 《部首》 部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。</p>

※常用漢字とは、平成22年11月30日付内閣告示による「常用漢字表」に示された2136字をいう。

## <準2級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 小学校・中学校で学習する常用漢字の大体を理解し、文章の中で適切に使えるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 部首</p> <p><b>【内容】</b> ア. 常用漢字の大体が読める。特に中学校で学習する音・訓を身につける。 イ. 学年別漢字配当表の漢字およびその他の常用漢字300字程度を身につけ、文章の中で適切に使える。 ・熟字訓、当て字を理解すること(硫黄／いおう、相撲／すもう、草履／ぞうり、凸凹／でこぼこ など) ・対義語、類義語、同音・同訓異字などを正しく理解すること ・典拠のある四字熟語を正しく理解すること (驚天動地、孤立無援 など) ウ. 部首の理解を深め、正しく識別する。</p>	<p><b>【程度】</b> 常用漢字のうち1940字(※)を理解し、文章の中で適切に使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 1940字の漢字の読み書きを習得し、文章の中で適切に使える。 ・音読みと訓読みとを正しく理解していること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること ・熟語の構成を正しく理解していること ・熟字訓、当て字を理解していること (硫黄／いおう、相撲／すもう など) ・対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解していること 《四字熟語》 典拠のある四字熟語を理解している(驚天動地、孤立無援 など)。 《部首》 部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。</p>

※常用漢字とは、平成22年11月30日付内閣告示による「常用漢字表」に示された2136字をいう。  
※1940字とは、昭和56年10月1日付内閣告示による旧「常用漢字表」の1945字から「勺」「錘」「銑」「脹」「刃」の5字を除いたものを指す。

## <3級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 小学校学年別配当表のすべての漢字と、その他の常用漢字600字程度を理解し、文章の中で適切に使えるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 部首</p> <p><b>【内容】</b> ア. 約1600字の漢字が読める。 イ. 学年別漢字配当表の漢字を身につけ、文章の中で適切に使える。 ・音読みと訓読みを正しく理解すること ・熟字訓、当て字を理解すること(乙女／おとめ、風邪／かぜ、足袋／たび、雪崩／なだれ など) ・対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解すること ・熟語の構成、四字熟語を正しく理解すること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと ウ. 部首を理解し、漢和辞典の使用に慣れる。</p>	<p><b>【程度】</b> 常用漢字(※)のうち約1600字を理解し、文章の中で適切に使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表のすべての漢字と、その他の常用漢字約600字の読み書きを習得し、文章の中で適切に使える。 ・音読みと訓読みとを正しく理解していること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること ・熟語の構成を正しく理解していること ・熟字訓、当て字を理解していること (乙女／おとめ、風邪／かぜ など) ・対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解していること 《四字熟語》 四字熟語を理解している。 《部首》 部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。</p>

※常用漢字とは、平成22年11月30日付内閣告示による「常用漢字表」に示された2136字をいう。

## <4級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p>【程度】 小学校学年別配当表のすべての漢字と、その他の常用漢字300字程度を理解し、文章の中で適切に使えるようにする。</p> <p>【領域】 読むことと書くこと 部首</p> <p>【内容】 ア. 約1300字の漢字が読める。 イ. 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文章の中で適切に使えるようにする。 ・音読みと訓読みを正しく理解すること ・熟字訓、当て字を理解すること(小豆/あずき、時雨/しぐれ、土産/みやげ、大和・やまと など) ・対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解すること ・熟語の構成、四字熟語を正しく理解すること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと ウ. 部首を理解し、漢和辞典の使用に慣れる。</p>	<p>【程度】 常用漢字(※)のうち約1300字を理解し、文章の中で適切に使える。</p> <p>【領域・内容】 《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表のすべての漢字と、その他の常用漢字約300字の読み書きを習得し、文章の中で適切に使える。 ・音読みと訓読みとを正しく理解していること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること ・熟語の構成を正しく理解していること ・熟字訓、当て字を理解していること(小豆/あずき、土産/みやげ など) ・対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解していること 《四字熟語》 四字熟語を理解している。 《部首》 部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。</p>

※常用漢字とは、平成22年11月30日付内閣告示による「常用漢字表」に示された2136字をいう。

## <5級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p>【程度】 小学校第6学年までの学習漢字を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割に対する知識を深め、漢字を文章の中で適切に使えるようにする。</p> <p>【領域】 読むことと書くこと 筆順 部首</p> <p>【内容】 ア. 配当漢字が読める。 イ. 配当漢字の大体が書ける。 ・音読みと訓読みを正しく理解すること ・対義語、類義語、同音・同訓異字、四字熟語を正しく理解すること(豊年満作、郷土芸能 など) ・熟語の構成を知ること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと ウ. 筆順を正しく理解する。 エ. 漢字の形を理解する。</p>	<p>【程度】 小学校第6学年までの学習漢字を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割に対する知識を身に付け、漢字を文章の中で適切に使える。</p> <p>【領域・内容】 《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第6学年までの学習漢字を読み、書くことができる。 ・音読みと訓読みとを正しく理解していること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること ・熟語の構成を知っていること ・対義語、類義語を正しく理解していること ・同音・同訓異字を正しく理解していること 《四字熟語》 四字熟語を正しく理解している(有名無実、郷土芸能 など)。 《筆順》 筆順、総画数を正しく理解している。 《部首》 部首を理解し、識別できる。</p>

## <6級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p>【程度】 小学校第5学年までの学習漢字を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割を知り、正しく使えるようにする。</p> <p>【領域】 読むことと書くこと 筆順 部首</p> <p>【内容】 ア. 配当漢字が読める。 イ. 配当漢字の大体が書ける。 ・音読みと訓読みを正しく理解すること ・対義語、類義語の大体がわかること(欠点-短所、死去-他界 など) ・同音・同訓異字、三字熟語を正しく理解すること ・熟語の構成を知ること(日照、上下、美人、読書、不明 など) ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと(等しい、短い など) ウ. 筆順、総画を理解する。 エ. 主な部首を理解する。</p>	<p>【程度】 小学校第5学年までの学習漢字を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割を知り、正しく使える。</p> <p>【領域・内容】 《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第5学年までの学習漢字を読み、書くことができる。 ・音読みと訓読みとを正しく理解していること ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること(告げる、失う など) ・熟語の構成を知っていること(上下、絵画、大木、読書、不明 など) ・対義語、類義語の大体を理解していること(禁止-許可、平等-均等 など) ・同音・同訓異字を正しく理解していること 《筆順》 筆順、総画数を正しく理解している。 《部首》 部首を理解している。</p>

## <7級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 小学校第4学年までの学習漢字を理解し、文章の中で正しく使えるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 筆順 部首</p> <p><b>【内容】</b> ア. 担当漢字が読める。 イ. 担当漢字の大体が書ける。 ・音読みと訓読みを正しく理解すること ・対義語の大体がわかること(入学ー卒業、得点ー失点 など) ・同音異字を理解すること(健康、高校、広告、外交 など) ・三字熟語を理解すること(百貨店、軽音楽 など) ・送り仮名に注意して正しく書くこと (落ちる、登る、放す など) ウ. 点画にも注意する。 エ. 脚、構、繞を理解する。</p>	<p><b>【程度】</b> 小学校第4学年までの学習漢字を理解し、文章の中で正しく使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第4学年までの学習漢字を読み、書くことができる。 ・音読みと訓読みとを正しく理解していること ・送り仮名に注意して正しく書けること (等しい、短い、流れる など) ・熟語の構成を知っていること ・対義語の大体を理解していること (入学ー卒業、得点ー失点 など) ・同音異字を理解していること(健康、高校、広告、外交 など) 《筆順》 筆順、総画数を正しく理解している。 《部首》 部首を理解している。</p>

## <8級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 小学校第3学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使えるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 筆順 部首</p> <p><b>【内容】</b> ア. 小学校第3学年までの学習漢字を読み、またその大体を書くことができる。 ・音読みと訓読みを理解すること ・対義語の大体がわかること(勝つー負ける、重いー軽い など) ・送り仮名に注意して書くこと(当たる、楽しい、後ろ など) イ. 筆順、総画数を正しく理解する。 ウ. へん、かんむり、つくりなどを理解する。</p>	<p><b>【程度】</b> 小学校第3学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第3学年までの学習漢字を読み、書くことができる。 ・音読みと訓読みとを理解していること ・送り仮名に注意して正しく書けること (食べる、楽しい、後ろ など) ・対義語の大体を理解していること (勝つー負ける、重いー軽い など) ・同音異字を理解していること(反対、体育、期待、太陽 など) 《筆順》 筆順、総画数を正しく理解している。 《部首》 主な部首を理解している。</p>

## <9級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 小学校第2学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使えるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 筆順</p> <p><b>【内容】</b> ア. 小学校第2学年までの学習漢字を読み、またその大体を書くことができる。 イ. 点画の長短、接し方や交わり方、筆順および総画を理解する。</p>	<p><b>【程度】</b> 小学校第2学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第2学年までの学習漢字を読み、書くことができる。 《筆順》 点画の長短、接し方や交わり方、筆順および総画数を理解している。</p>

## <10級>

現行の審査基準(平成23年度まで)	新しい審査基準(平成24年度～)
<p><b>【程度】</b> 小学校第1学年の学習漢字を理解し、文や文章の中で使えるようにする。</p> <p><b>【領域】</b> 読むことと書くこと 筆順</p> <p><b>【内容】</b> ア. 小学校第1学年の学習漢字を読み、またその大体を書くことができる。 イ. 点画の長短、接し方や交わり方、筆順および総画を理解する。</p>	<p><b>【程度】</b> 小学校第1学年の学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。</p> <p><b>【領域・内容】</b> 《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第1学年の学習漢字を読み、書くことができる。 《筆順》 点画の長短、接し方や交わり方、筆順および総画数を理解している。</p>

# 平成24年度（2012年度）第1回検定から対応

## 日本漢字能力検定 各級の程度・出題内容

本表は、平成24年度第1回検定からの新しい審査基準をもとに作成した一覧表です。

級	レベル・対象漢字数	程度	主な出題内容					合格基準	検定時間
			漢字の読み	漢字の書取	故事・諺	対義語・類義語	同音・同訓異字		
1級	大学・一般程度 (約6000字)	常用漢字を含めて、約6000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。	漢字の読み	漢字の書取	故事・諺	対義語・類義語	同音・同訓異字	200点満点 80%程度	各 60分
			誤字訂正	四字熟語					
準1級	大学・一般程度 (約3000字)	常用漢字を含めて、約3000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。	漢字の読み	漢字の書取	故事・諺	対義語・類義語	同音・同訓異字	200点満点 80%程度	
			誤字訂正	四字熟語					
2級	高校卒業・大学・一般程度 (2136字)	すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える。	漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名	送り仮名	対義語・類義語	200点満点 80%程度	
			同音・同訓異字	誤字訂正	四字熟語	熟語の構成			
準2級	高校在学程度 (1940字)	常用漢字のうち1940字を理解し、文章の中で適切に使える。	漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名	送り仮名	対義語・類義語	200点満点 70%程度	
			同音・同訓異字	誤字訂正	四字熟語	熟語の構成			
3級	中学卒業程度 (1607字)	常用漢字のうち約1600字を理解し、文章の中で適切に使える。	漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名	送り仮名	対義語・類義語	200点満点 70%程度	
			同音・同訓異字	誤字訂正	四字熟語	熟語の構成			
4級	中学校在学程度 (1322字)	常用漢字のうち約1300字を理解し、文章の中で適切に使える。	漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名	送り仮名	対義語・類義語	200点満点 70%程度	
			同音・同訓異字	誤字訂正	四字熟語	熟語の構成			
5級	小学校6年生 修了程度 (1006字)	小学校第6学年までの学習漢字を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割に対する知識を身に付け、漢字を文章の中で適切に使える。	漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名	筆順・画数	送り仮名	200点満点 70%程度	
			対義語・類義語	同音・同訓異字	誤字訂正	四字熟語	熟語の構成		
6級	小学校5年生 修了程度 (825字)	小学校第5学年までの学習漢字を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割を知り、正しく使える。	漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名	筆順・画数	送り仮名	200点満点 70%程度	
			対義語・類義語	同音・同訓異字	三字熟語	熟語の構成			
7級	小学校4年生 修了程度 (640字)	小学校第4学年までの学習漢字を理解し、文章の中で正しく使える。	漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名	筆順・画数	送り仮名	200点満点 70%程度	
			対義語	同音異字	三字熟語				
8級	小学校3年生 修了程度 (440字)	小学校第3学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。	漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名	筆順・画数	送り仮名	150点満点 80%程度	
			対義語	同じ漢字の読み					
9級	小学校2年生 修了程度 (240字)	小学校第2学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。	漢字の読み	漢字の書取	筆順・画数			150点満点 80%程度	
10級	小学校1年生 修了程度 (80字)	小学校第1学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。	漢字の読み	漢字の書取	筆順・画数			150点満点 80%程度	

### <用語について>

※常用漢字とは、平成22年11月30日付内閣告示による「常用漢字表」に示された2136字をいいます。

※準2級の「1940字」とは、昭和56年10月1日付内閣告示による旧「常用漢字表」の1945字から「勺」「錘」「銑」「脹」「刃」の5字を除いたものを指します。

※3級の「1607字」とは、現行の審査基準で、3級対象となっていた1608字から、「脹」の1字のみを削除したものを指します。

### <出題内容について>

※ここに示したのは出題分野の一例です。毎回すべての分野から出題されるとは限りません。また、このほかの分野から出題されることもあります。

# 新しい審査基準に関する

## Q & A

### Q1 なぜ、審査基準が変わるのですか？

- A. 平成22年11月30日付けで改定された常用漢字表が告示されました。常用漢字表は社会で必要とされる漢字の基準です。漢検は社会や学校教育で必要とされる漢字能力の習得の度合いを測定する検定であるため、常用漢字表の改定に合わせて、すべての常用漢字を読み書き活用できるレベルである2級の審査基準を改定しました。また、2級に向けてより段階的に学習しやすいよう、現行の級のレベル(例:「3級＝中学卒業程度」など)を勘案したうえで、準2級～10級の審査基準も見直しました。

### Q2 平成24年度からとは、具体的にいつ行われる検定からですか？

- A. 平成24年度第1回から新しい審査基準での検定を行います。平成24年度の検定日程は、本冊子の10ページを参照してください。  
なお、コンピューターで受検する「漢検CBT」では、平成24年3月31日までは現行の審査基準で検定を行います。平成24年4月1日から一時的に検定を休止し、その後、再開した日から新しい審査基準で検定を行う予定です。具体的な休止期間は未定です。遅くとも平成24年2月頃には、漢検ホームページでお知らせします。

### Q3 審査基準の改定により、対象漢字数や字種に変更はありますか？

- A. 対象漢字数や字種に変更があるのは、以下の級です。

準1級	...	常用漢字を含めて約3000字の漢字(JIS第1水準を目安とする)。 ※従来の審査基準で1級対象となっていた漢字のうち、平成22年に常用漢字に追加された28字(「暖」「曇」など)は準1級でも出題対象となる。
2級	...	平成22年11月30日付内閣告示による「常用漢字表」にある2136字すべて。 ※昭和56年10月1日付内閣告示による旧「常用漢字表」の1945字から、「勺」「鍾」「銑」「脹」「刃」の5字を除き、平成22年に常用漢字に追加された196字(「挨」、「宛」など)を加えたもの。
準2級	...	昭和56年10月1日付内閣告示による旧「常用漢字表」の1945字から、「勺」「鍾」「銑」「脹」「刃」の5字を除いた1940字。
3級	...	従来の審査基準で、3級対象となっていた1608字から、「脹」の1字のみを削除した1607字。

平成23年8月発表の内容から変更しています。

## 新しい審査基準に関する

# Q & A

### Q4 審査基準が新しくなると、出題形式や問題数も新しくなるのですか？

- A. 当協会では、時代の変化に即応した漢字能力測定の精度を維持するために、毎回問題の構成を検討しています。したがって、**審査基準の変更の有無にかかわらず、適宜、出題形式や問題数を変更することがあります。**

### Q5 合格基準(例:「3級=200点満点70%程度」など)に変更はありますか？

- A. 審査基準の改定に伴う合格基準の変更はありません。

### Q6 2級の新しい審査基準には「人名用漢字」という記載がありませんが、2級から人名用漢字の出題はなくなるのですか？

- A. はい。新しい審査基準の2級では、平成22年11月30日付けで常用漢字に加わったものを除き、人名用漢字は出題対象となりません。  
常用漢字表改定に伴い、一部の人名用漢字は常用漢字表に含まれることとなりました。これを受け、2級のレベルを総合的に勘案し、上記のとおり判断しました。

### Q7 新しい常用漢字表は、どこで確認することができますか？

- A. 文化庁のホームページ(<http://www.bunka.go.jp/>)にてご確認ください。

### Q8 常用漢字表の改定で、読み方が追加されたものがあります(例:「育(はぐくむ)」)が、これは平成24年度以降の検定の範囲に含まれますか？

- A. 常用漢字表に入っている読み方は、検定の出題範囲に含まれます。

### Q9 筆順や部首に関する変更はありますか？

- A. 従来から常用漢字表に入っていた字種の筆順や部首の分類に変更はありません。  
新しく常用漢字表に追加された字種の筆順・部首は、平成24年2月末以降に発行する協会書籍に掲載します。  
※「采」については、部首名を「のごめ」から「のごめへん」に変更します。



## 新しい審査基準に関する

# Q & A

**Q10** 常用漢字に新たに追加された字種で、従来の常用漢字の字体とは異なるもの(例:しんにゅう、しょくへんを含むもの、など)がありますが、漢検の新しい審査基準では、これらはどのように採点されるのですか？

A. 常用漢字追加字種の、漢検における許容字体(解答に用いても正解とする字体)は、現在検討中です。遅くとも平成24年2月頃にはホームページや協会発行書籍などでお知らせします。

**Q11** 平成23年度以前に取得した級は、無効になりますか？

A. いいえ、無効にはなりません。

**Q12** 新しい審査基準で取得した場合と、平成23年度以前に取得した場合では、同じ級であれば同じレベル(例:「3級＝中学卒業程度」など)と捉えても良いのでしょうか。

A. はい。今回の審査基準改定では、各級のレベル(例:「3級＝中学卒業程度」など)に変更はありません。

**Q13** 大学入試や高校入試で漢検の資格評価をしているとありますが、新旧どちらの審査基準で取得した級でも同じように評価されるのでしょうか。

A. 入試における資格評価は、入試を行っている大学、高校等で決められています。当協会が現在公表している、入試で漢検を評価する大学・高校の一覧は、平成23年度(2011年度)入試に関する情報です。平成24年度(2012年度)以降の入試に関する調査結果はまとまり次第、ホームページなどで公表します。

**Q14** 新しい審査基準の検定に対応した書籍は、いつごろ発売されますか？

A. 平成24年2月末頃から順次発売予定です。

**Q15** 協会発行のすべての書籍・辞書類が改訂される予定ですか？

A. 改訂される書籍と詳細な発売時期については、平成23年12月頃にお知らせします。

## 新しい審査基準に関する

# Q & A

### Q16 新しい審査基準での検定に対して、現在持っている問題集は使えますか？

- A. 1級および5級～10級は、審査基準に実質的な変更がないため、そのまま使用できます。2級は追加字種が196字あるため、新しい審査基準に対応した書籍を購入することをお勧めします。  
準1級および準2級～4級も、より確かな対策のために、新しい審査基準に対応した書籍を用いて学習することをお勧めします。

※あくまで協会書籍に関することです。他社発行の書籍についてはお答えいたしかねます。

平成23年8月発表の内容から変更しています。

### Q17 新しい審査基準に対応した問題例はありますか？

- A. まだ、新しい審査基準での検定を実施していませんので、問題例はありません。

# 平成24年度(2012年度) 日本漢字能力検定 検定日程

※以下は国内における日程です。海外の日程は異なります。

団体受検				個人受検	
第1回	会場 (検定級)	検定日	受付締切日(協会必着)	検定日	
	準会場 (2~10級)	平成24年6月2日(土)	平成24年5月2日(水)	平成24年6月17日(日)	
	準会場 (2~10級)	平成24年6月15日(金)	平成24年5月15日(火)	書店受付期間	
	公開会場 (1~10級)	平成24年6月17日(日)	平成24年5月18日(金)	平成24年4月1日(日)~平成24年5月14日(月)	
	準会場 (2~10級)			申込締切日(協会必着)	
準会場 (2~10級)	平成24年7月13日(金)	平成24年6月13日(水)	平成24年5月18日(金)		
				検定会場	
				公開会場	
第2回	準会場 (2~10級)	平成24年8月24日(金)	平成24年7月24日(火)	検定日	
	準会場 (2~10級)	平成24年10月19日(金)	平成24年9月19日(水)	平成24年10月28日(日)	
	公開会場 (1~10級)	平成24年10月28日(日)	平成24年9月28日(金)	書店受付期間	
	準会場 (2~10級)			平成24年7月1日(日)~平成24年9月24日(月)	
	準会場 (2~10級)	平成24年11月2日(金)	平成24年10月2日(火)	申込締切日(協会必着)	
	準会場 (2~10級)	平成24年11月10日(土)	平成24年10月10日(水)	平成24年9月28日(金)	
				検定会場	
				公開会場	
第3回	準会場 (2~10級)	平成25年1月25日(金)	平成24年12月20日(木)	検定日	
	準会場 (2~10級)	平成25年2月1日(金)	平成24年12月20日(木)	平成25年2月3日(日)	
	公開会場 (1~10級)	平成25年2月3日(日)	平成24年12月25日(火)	書店受付期間	
	準会場 (2~10級)			平成24年11月1日(木)~平成24年12月19日(水)	
	準会場 (2~10級)	平成25年2月9日(土)	平成25年1月9日(水)	申込締切日(協会必着)	
				平成24年12月25日(火)	
				検定会場	
				公開会場	

※平成24年度から改定される審査基準に関する詳しい情報は、漢検ホームページにてご確認ください。

## 個人受検について

- ・「公開会場」は当協会または当協会と特別に提携した機関が一般の受検者のために設けた会場です。
- ・受検をお考えの方は、全国の漢検取扱書店、漢検ホームページ、携帯電話、ローソン(Loppi)、セブン-イレブン(マルチコピー)、ファミリーマート(Famiポート)、サークルKサンクス(カルワザステーション)からお申し込みください。協会または取扱新聞社などへ直接お申し込みいただくこともできます。

## 団体受検について

- ・「準会場」は、設置条件を満たしている学校や団体が自ら設けた団体受検用の会場です。志願者が10名以上いれば準会場として漢検を実施することができます。
- ・日曜日実施の準会場は、公開会場の検定時間に準じて実施してください。



## 財団法人日本漢字能力検定協会

【本部】〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398  
 【東京事務局】〒100-0004 東京都千代田区大手町2-1-1 大手町野村ビル  
 URL: <http://www.kanken.or.jp/>

## お問い合わせ窓口

**0120-509-315** (無料) 海外からはご使用になれません。ホームページからお問い合わせください。

お問い合わせ時間: 月~金 9:00~17:00 (祝日・年末年始を除く)

※検定日とその前日の土、日は開設 ※検定日と申込締切日は9:00~18:00

本冊子を無断で複製(コピー)することは著作権法上の例外を除き、禁じられています。©財団法人日本漢字能力検定協会  
 「漢字検定」「漢検」は登録商標です。